

令和3年

# 新年のごあいさつ

尾張旭市長

## 森 和実



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、「新しい生活様式」である3密の回避、マスクの着用、手洗い、換気の徹底など、感染防止に努めていただき、誠にありがとうございます。

また、医療関係者をはじめ、感染症防止・対応現場の最前線で、日夜ご尽力いただいている全ての皆さまに対し、厚くお礼を申し上げます。

本市は、昨年12月に市制50周年という節目を迎えました。また、新型コロナウイルス感染症拡大により、経済はもとより地域活動にも大きな影響を受けました。本市においても、市制50周年をお祝いしようとさまざまなイベントを計画していましたが、さくらまつりやたのしい夏まつり、市民祭をはじめ、多くの行事を中止や延期といたしました。このような中、昨年12月には、感染防止対策を行い、「あさひ冬のわくわくまつり」を開催しました。運営方法を検証し、今後のイベント開

催につなげていきたいと考えています。

市制50周年のイベントは新型コロナウイルスの影響を鑑みて2カ年で実施することを決定いたしました。新型コロナウイルス感染症という新たな困難に直面している私たちも、この状況に負けず、元気に乗り越えていく姿を、未来へと引き継いでいくことが、市制50周年記念事業のテーマである「ともにつなごう あさひの歩み・いま・未来」の実現につながると考えています。

本年も市民の皆さまの命と健康を守ることを最優先に、感染症対策と地域経済回復を両立させ、引き続き「こどもは宝、健康は宝、幸せづくりは宝」に向けた施策を展開し、オンリーワンのまちづくりを進めていきます。

最後になりましたが、本年が市民の皆さまにとって素晴らしい年になることをご祈念申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

尾張旭市議会議長

早川 八郎



新年明けましておめでとうございます。  
市民の皆さまには、健やかな新春をお迎  
えのこととお喜び申し上げます。

平素は、市議会に対して多大なるご支  
援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年12月1日に、尾張旭市は市  
制施行50周年という節目を迎えました。  
50年前といいますと、電話を持ち歩く  
という時代は考えられない時代でしたが、  
今では誰もがポケットにスマートフォン  
を入れて持ち歩ける時代となり、想像  
できないほど速いスピードで世の中が  
変わりました。その移り変わりと同じ  
ように本市も素晴らしく住みよい平  
穏なまちとなりました。これも先人の  
かたたちのご尽力の賜物であり、感  
謝申し上げます。

ただ、この平穏な日々は、昨年の新  
型コロナウイルス感染症拡大で、誰  
もが想像できないほど生活・働き  
方・教育などの環境が大きく様  
変わりし、つらくもどかしい毎日  
へと一変しました。この一変した  
日々を私たちは

新しい生活様式へのチャレンジとして  
受け入れ、今進み始めました。今年  
は、コロナ感染拡大が終息し、この  
チャレンジが実を結び、今よりも  
もっとも素晴らしい尾張旭市への  
幕開けが始まると信じています。  
今は前を向いて、未来を信じ、皆  
で助け合っていけば、ひまわりの  
花が咲くように、一人一人が今以  
上に明るく元気に暮らせる日が来  
ると思います。

市議会といたしましては、市民の  
皆さまの暮らしを守り、期待と信  
頼に応えるべく、議員としての役  
割と責務を自覚し、公明正大な  
開かれた議会運営に努めるととも  
に、尾張旭市の発展に向け議員一  
同全力を尽くしてまいります。

引き続き、皆さまのご支援・ご  
指導を賜りますようよろしくお願い  
いたします。

結びにあたり、新しい年が皆さま  
にとって、笑顔が溢れる幸多い年  
になりますよう心より祈念申し上げ、  
新年のあいさつとさせていただきます。